

令和8年（2026年）10月30日

保護者の皆様

札幌市立幌北小学校

令和8年度全国学力・学習状況調査における本校の結果分析について

平素より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果について、本校における分析を行いましたので、お知らせいたします。また、今回の結果から明らかとなった課題につきましては、以下に示す対応方針に基づき、今後全ての学年の教育活動の改善に生かしてまいります。

なお、6年生の保護者の皆様には、すでに個人票を配付しておりますので、御確認ください。

■対応方針1…教科に関する調査結果から

【国語】

◇全国平均と比較して、目的に応じて必要な情報を見付けることや、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることなどの「読むこと」の領域で高い成果が見られます。

◇一方で、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに、やや課題が見られます。引用する部分を選んだり、引用した内容と自分の考えをつないだりする学習や、国語以外の教科でも「情報を整理・関連付けて表現する」活動などを意識的に行い、情報の活用力を高めていきます。

【算数】

◇全国平均と比較して、百分率で表された割合と比較量から基準量を求めることなどの「変化と関係」の領域において高い成果が見られます。

◇一方で、直方体の三つの辺の長さを捉え必要な求め方を数や言葉で記述することや、2つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述することなどの記述式の問題において、やや課題が見られます。日常生活の場面と結びつけた問題解決学習や、表やグラフなどの資料を活用した比較・整理の学習機会に、学年の発達段階に応じて、「適切な数や言葉を用いて論理的に表現する力」の育成を図っていきます。

■対応方針2…児童質問調査の結果から



【全体総括】

◇全体を通じ、教科（国語・算数）の学習内容に対する理解度や、学校での学習が将来の生活・社会で役に立つという有用感が全国平均を大きく上回っています。また、「先生から自分のよさを認められている実感」や「人の役に立つ人間になりたい」という意識が非常に高いこともわかります。朝食の摂取や就寝時刻などの基本的な生活習慣も良好に維持されています。

◇一方で、「話し合って、互いの意見のよさを生かして解決していくこと」や、「将来の夢や目標の所持」、「友達関係への満足度」において、課題が見られます。今後の改善策として、授業で高まっている「異なる意見を尊重する意識」を生かし、学級会や日常の係・グループ活動において児童自身が主体的に話し合い、課題を解決する体験を大切にします。自分たちの力で学級生活をよりよくできたという実感を育むとともに、一人一人のよさが生かされる関わりを通して、安心して関わり合える集団づくりと将来への目標形成を支えていきます。

■教科に関する調査の結果

*「ほぼ同程度」→全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内／「上回る」→+3.1ポイント以上



【国語】

本校の概要

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
◇全国平均を上回っている。
「情報の扱い方に関する事項」
◇全国平均を上回っている。
「話すこと・聞くこと」
◇全国平均を上回っている。
「書くこと」
◇全国平均を上回っている。
「読むこと」
◇全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

改善の方向

- 漢字の成り立ちや意味の理解を深め、日常生活や作文の中で正しく使う指導を繰り返し充実させていきます。
- 文章を書く際、引用する部分を選んだり、引用した内容と自分の考えをつないだりする学習を丁寧に指導します。
- 他教科（社会・理科・総合等）でも「情報を関連付けて表す」言語活動を意識的に取り入れ、情報活用能力を高めていきます。

【算数】

本校の概要

- 「数と計算」
◇全国平均を上回っている。
「図形」
◇全国平均を上回っている。
「測定」
◇全国平均とほぼ同程度。
「変化と関係」
◇全国平均を上回っている。
「データの活用」
◇全国平均を上回っている。



今回の調査における課題

- 直方体の三つの辺の長さに着目し、示された条件から調べたい数量の求め方を言葉や数で論理的に記述すること。
- 二次元の表や複雑な資料から、条件に合うデータを正確に読み取って判断すること。

改善の方向

- 実際に立体や図形を操作する具体的な活動を取り入れ、三次元の要素を視覚的・数量的に捉える感覚を養います。
- 日常の具体的な場面を題材とし、複数の表や資料から必要な情報を読み取り、自分の考えの理由を説明させることで理解を深めていきます。

■【児童質問調査】の結果 *肯定的な回答が比較的多かったもの、少なかったものを掲載。()は全国平均との比較。

■「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合が、全国平均より大幅に高かった質問

- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う → 98.1% (全国比 +7.7pt)
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う → 98.2% (全国比 +7.2pt)
- 国語の授業の内容はよく分かる → 92.7% (全国比 +11.2pt)
- 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う → 94.5% (全国比 +3.1pt)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う → 83.6% (全国比 +5.7pt)

■その他「当てはまる」「どちらかといえば(やや)当てはまる」と答えた児童の割合が高かった質問

- 人の役に立つ人間になりたいと思う → 100.0% (全国比 +4.2pt)
- 朝食を毎日食べている → 96.4% (+3.1pt) ○毎日同じくらいの時刻に寝ている → 89.1% (+6.3pt)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う → 96.4% (全国比 +0.2pt)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる → 74.6% (+4.0pt)
- 学校に行くのは楽しいと思う → 89.1% (全国比 +3.4pt)

■全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が低かった質問

- ▲学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている → 60.0% (全国比 -21.5pt)
- ▲将来の夢や目標を持っている → 70.9% (全国比 -10.9pt)
- ▲友達関係に満足している → 83.7% (全国比 -7.4pt)